

# 令和5年度補助事業の概要 (一般財団法人 海技振興センター)

## 1. 水先人養成支援事業

持続的で高質な水先サービスの確保に資するため、水先人養成支援対象者及び水先人養成施設(海技大学校水先教育センター)に対し、必要な支援を実施。

**養成の内容・流れ**

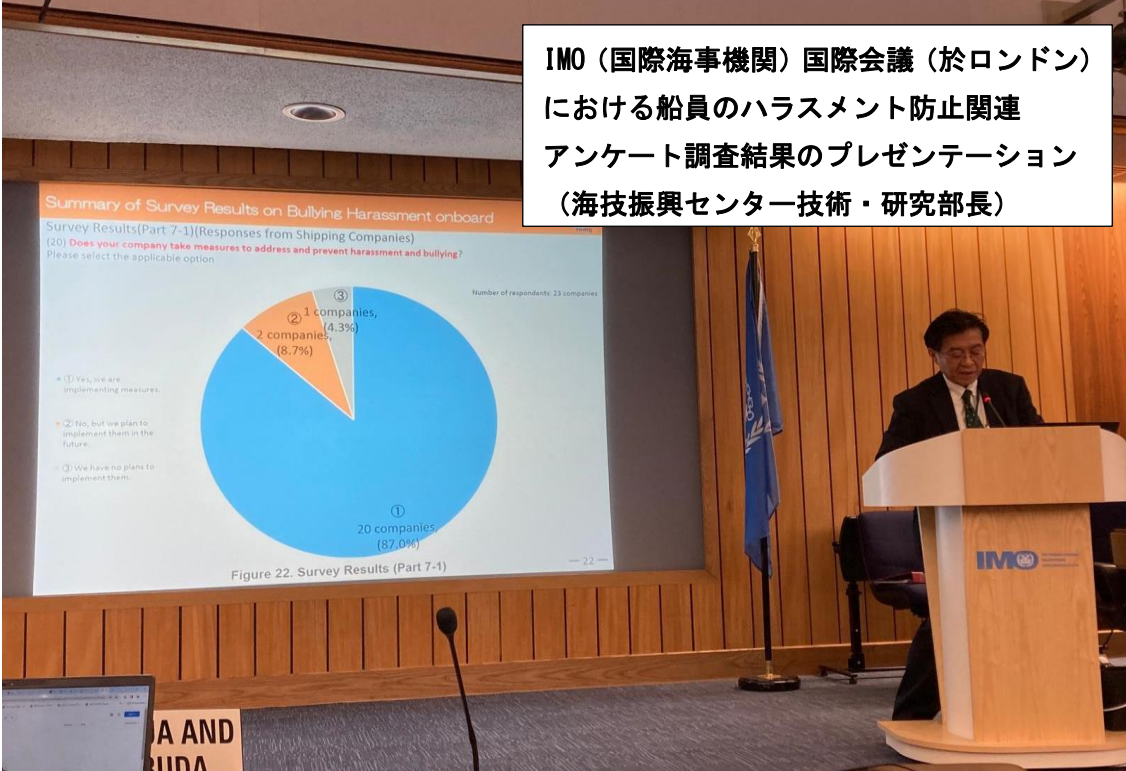
商船乗船訓練	座学	操船シミュレータ 訓練	水先実務等訓練
			
※ 修業生を海技振興Cが雇用し、外航企業に出向して、航海士として乗船させ素養を習得	※ 水先教育Cにて、水先人に必要な知識等を習得	※ 水先教育Cにて、水先人に必要な技能等を習得	※ 各水先区にて、実際の船舶に水先人と同乗し、必要な知識技能等を習得(シミュレータも活用)

修了 / 水先人

## 2. 海技の振興に関する調査研究事業 (IMO 等国際関係)

国・独法(JMETS)・当センターの三者間で緊密・有機的な連携体制を確保しつつ、船員の知識技能等に関する専門委員会を開催し、IMO 国際会議に対する我が国対処方針の取りまとめを行うとともに、IMO 会議への日本政府団としての参加を実施。

**IMO (国際海事機関) 国際会議 (於ロンドン) における船員のハラスメント防止関連 アンケート調査結果のプレゼンテーション (海技振興センター技術・研究部長)**



Response Option	Number of Companies	Percentage
① Yes, we are implementing measures.	20	87.0%
② No, but we plan to implement them in the future.	2	8.7%
③ We have no plans to implement them.	1	4.3%

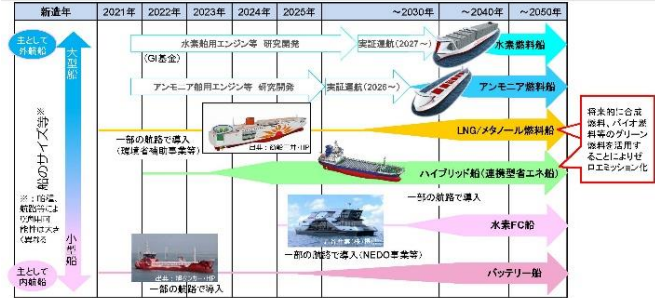
### 3. 海技の振興に関する調査研究事業（船員関係）

国の政策との連携・船主側ニーズを踏まえ、自動運航船の船員、陸上遠隔操縦者に必要となる知識・能力要件及びアンモニア・水素燃料船に乗船する船員の訓練要件について検討を行うとともに、外国人船員の船内実務等を踏まえた船員のハラスメント防止に関する動画教材等を作成。また、その成果等について広く関係者等に周知しその活用等に資するため、海技振興フォーラムを開催。

#### 代替燃料船の実現スケジュール(国土交通省資料)

2050年カーボンニュートラル実現に向けた先進的な取組について 国土交通省

- 海運分野におけるカーボンニュートラル実現に向けては、比較的大型の船舶については水素、アンモニア、LNG等のガス燃料への切替の可能性がある。
- 小型の船舶については、バッテリーや水素FCを用いた電気推進の普及が見込まれる。
- なお、中型の船舶については、当面はバッテリーに発電機を組み合わせたハイブリッド船の普及が期待される。また、バッテリーや水素FCについても技術進展・コストダウンによる適用拡大が期待される。



#### 船上で働くことの幸福感(Well-being)を得るために～船員に対するいじめ・ハラスメントの防止～ (教材動画内イラスト)



### 4. 海技の振興に関する調査研究事業（水先関係）

国の政策と連携しつつ、関係者のニーズに対応すべく、水先側・船主側等で構成する「水先人の人材確保・育成等に関する検討会」を運営するとともに、水先関連業務のデジタル化及びオンライン化に関する調査を実施。

#### 水先人会における行政への報告業務の現状等に関する報告書(抄)

表 5.1.1 法令等に基づく報告等に関する他のシステムとの連携の可能性

報告事項	報告等内容・必要情報	連携の可能性 がある他の行政システム	
水先人会が行う報告	水先実績	水先要請船に関する情報 水先業務実績(水先人会) 水先業務実績(水先人別)	NACCS
	水先業務用施設	水先船 事務所等	
	事業報告・収支計算 事業計画・収支予算	事業報告、事業計画 収支計算結果、収支予算	
	役員の選任・解任	履歴書、就任承諾書 役員名簿、会員名簿	
	引受事務要領・就業表	引受方法等、就業表、その他	
	水先人が行う申請・届出 であつて水先人会が支援 を行っているもの	水先業務の開始・休止 に関する報告※1	個人情報(戸籍謄本等を含む) 水先免状記載事項
水先免許		申請・届出事項	
水先免状		申請・届出の理由と期日等、 その他の書類等(写真、収入印紙、 説明資料)	e-Gov
水先料・約款・会則			
指定地外交通許可			NACCS